

平成27年8月31日(月) 13:30~
大田スタジアム

第41回日本選手権大会
関東代表決定戦

VS

セガサミー

1回、1アウトから2番井村がレフト前ヒットで出塁、続く3番竹内(一)がレフト線へのタイムリー2塁打を打ち早々と先制する!!

1-2で迎えた6回、先頭の3番竹内(一)と4番大野が連続ライト前ヒットで0アウト1・3塁と同点のチャンスを作ると、続く5番加藤の内野ゴロの間に3塁ランナーが生還し同点に追い付く!!

3点差を追いかける9回、1アウトから7番島田がライト前ヒットで出塁し続く尾嶋の内野ゴロで2アウト2塁とチャンスを迎えるが、あと1アウトでゲームセットのところまで追い込まれる!ここから9番森川のレフト線タイムリー2塁打で1点を返す!攻撃は更に続き1番増野が四球で出塁し続く2番井村が死球で満塁とすると、3番竹内(一)のレフト前2点タイムリーヒットで土壇場9回2アウトから同点に追い付く!!

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
明治安田生命	安打	2	0	0	1	1	2	1	1	3	1	0	12
	得点	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	5
セガサミー	安打	1	0	1	4	2	1	0	3	0	1	2	15
	得点	0	0	0	1	1	0	0	3	0	0	1×	6

先発の大久保は4回、簡単に2アウトを取るがそこから5・6・7・8番打者に連続4安打を浴び1点を返され同点とされる。2番手の重信がマウンドに上がり同点で迎えた5回、先頭の1番打者にセンター前ヒットで出塁され、続く2番は送りバント、3番打者が凡打で2アウト2塁から4番打者に強烈なセンター前タイムリーヒットを浴び逆転を許す。

2-2の同点で迎えた8回、先頭の4番打者にレフト前ヒットで出塁されると続く5番が送りバント、6番が四球を選び続く7番を凡打に打ち取り2アウト2・3塁としマウンドを3番手の古田に託す。しかし続く8番打者にライトオーバーの2点タイムリー3塁打を浴び逆転を許すと、尚も2アウト3塁から続く9番打者にもタイムリーヒットを浴び終盤8回に3点をリードされ苦しい展開となる。土壇場9回に同点に追い付き試合は延長戦へ。11回、先頭の9番打者にセンター前ヒットで出塁され続く1番打者が送りバント、2番打者を凡打に打ち取り2アウト2塁とする。そして続く3番打者は初球をスイングする。打者は詰まり小飛球がレフト方向へ飛ぶ。打ち取ったと思った打球はショートとレフトの間にポトリと落ち2塁ランナーが生還しこれが決勝点となりサヨナラゲームで敗戦。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	犠飛	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁						
1	8	宮川	公法人第三部	3	3	0										0.000
	H→8	増野	丸の内支社	3	2	0									1	0.000
2	4	井村	東京本部	5	4	1	1									0.250
3	7	竹内一	町田支社	5	4	3	2	1			3			1		0.750
4	5	大野	総合法人第三部	5	5	2	2									0.400
5	9	加藤	新宿支社	5	5	1	1									0.200
6	DH	荒川	東京本部	5	5	1	1									0.200
7	6	島田	広域組織法人部	5	5	1	1									0.200
8	2	野地	総合法人第五部	3	3	1	1									0.333
	R	手銭	品川支社	0	0	0										#DIV/0!
	2	尾嶋	丸の内支社	2	2	0										0.000
9	3	森川	総合法人第一部	5	5	2	1	1			1					0.400
計				46	43	12	10	2	0	0	4	0	0	3		0.279

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	大久保	千代田支社		3 2/3	17	77	6	2	0	1	1	2.45
2番手	重信	池袋支社		4	17	62	4	2	1	3	3	6.75
3番手	古田	立川支社	×	3	14	59	5	6	0	2	2	6.00
計				10 2/3	48	•	15	10	1	6	6	5.06